

## 庁議の概要

開催日 平成 28 年 12 月 7 日（水）

### ◎項 目

- 1 12 月定例県議会質問情報について【各部局等】
- 2 会計監査院平成 27 年度決算検査報告について【会計管理局】
- 3 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

### ◎内 容

#### 1 12 月定例県議会質問情報について【各部局等】

各部局等から、12 月定例県議会の質問情報について説明を行った。

#### 2 会計監査院平成 27 年度決算検査報告について【会計管理局】

会計管理局より、資料に基づき会計監査院平成 27 年度決算検査報告について説明があった。

（会計管理局）

11 月 24 日に会計検査院において都道府県の会計管理者に対する平成 27 年度決算検査説明の報告、説明会が開催され、高知県では、市町村において適切でない事例が 3 件あった。県が直接携わる事業での指摘はなかったが、なお一層、適切な対応に努めるように願います。

#### 3 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局等による概要説明及び協議が行われた。

### <主な協議の概要>

#### ○ 「『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮」について

（危機管理部）

「『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮」については、各部局のご協力により成功裏に終える事が出来た。サミットでは、非常に立派な黒潮宣言がなされたので、この決意を実現するために、幅広く県民のみなさんに周知したいと考えている。具体的にはパンフレット等を作成することになると思うが、各部局等に県民のみなさんへの周知についてご協力をいただきたいのでよろしく願います。

（教育委員会）

教育委員会としても、サミットに参加した学校の生徒、特に高校生の防災リーダーの学習交流会の開催などに取り組んでいきたい。

## ○ 高知県防災関連製品認定審査会について

(商工労働部)

本日、本年度2回目の防災関連製品の認定審査会を開催している。今回は、4社・4製品の応募があった。審査員をお願いしている京都大学の牧先生からは、「少し応募数が少なくなっている一方で、様々な防災のシーンを考えたときにまだまだマーケットから必要とされるものがあるのではないだろうか。それから、今までは参加を広げていく、製品を広げていく募集に力を入れてきたが、これからは日常耳にする市場ニーズ、お客様からの声をふまえて、企業に対して「こういう製品ができないか？」といった動きをそろそろ始めてみてはどうか」というご提案をいただいた。

(知事)

募集とはそういうアイデアを募集するということか。

(商工労働部)

そう。

(知事)

アイデアをみせて、こういう商品をつくって下さいということか。

(商工労働部)

そう。こういう現場でこのようなお客様の声があるので、こういった製品はできないか、とフィードバックしていく動きを取り入れていこうかと考えているところ。

## ○ 「志国高知 幕末維新博」について

(観光振興部)

四国高知幕末維新博の開幕まで3カ月をきった。開幕に向けて様々な準備に急ピッチで取り組んでいる。特に来年が大政奉還から150年になるので、年明けから集中的に全国的な盛り上がりをつくって、高知に注目が集まるようなプロモーションをしていこうと取り組んでいる。各会場を紹介したパンフレットも完成しているので、各部局等においても色々な機会を通じて幕末維新博をPRしていただきたい。また、首都圏でのメディア対応が鍵となるので、東京事務所、大阪事務所等としっかり連携して、効率的な効果の高いプロモーションを展開していきたい。

(知事)

各部局等において、年末年始に向けて、関係団体等に挨拶される機会もあるだろうから「来年はいよいよ大政奉還から150年、幕末維新博が始まります」ということを、是非是非PRしていただきたい。県内で盛り上げるということも大事なので。

## ○高知龍馬マラソン 2017 について

(教育委員会事務局)

2月19日開催の高知龍馬マラソン2017には、最終的に1万1,586人のエントリーがあり、欠席者をふまえても1万人に近い参加者を確保できている。昨年は当日の運営スタッフが2,500人だったが、今年は3,000人程必要だろうと考えている。ありがたいことに一般のボランティア参加にずいぶん多く応募頂いているところだが、

残りは県職員に協力をお願いしたいので、よろしく願います。

## ○ 知事からの話

(知事)

平成 29 年度当初予算編成が本格化している。予算編成過程において、ぜひスクラップアンドビルドの徹底をよろしく願います。特にポイントをついた施策に集中できるように心がけていただきたい。重要事項については個別協議するのでよろしく願います。

予算編成過程においては、それぞれの項目についてこれまでの経緯を起承転結で財政課にしっかりと説明するよう気をつけていただきたい。財政課もそれを踏まえ協議していただきたい。